

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずデイゆめ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 11日	～	令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 19名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 11日	～	令和7年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 19名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別課題が1人1人に合わせた内容を提示している。できるようになったら次のステップに内容を変えて定時している。	初めて取り組む課題などは、職員が付きご利用児童様がわかりやすく理解できるように説明や声掛けをしている。理解し問題が解けた時は職員みんなで褒めて成功体験を積む。	集団での過ごし方やコミュニケーションの取り方等を経験しながら、個別課題の充実を図り、長所を伸ばしていく。
2	スモールステップで目標を達成しやすく設定し成功体験を増やしていき、やる気や自信をつけていけるように心がけている。	必ず1つはご利用児童様の良い所を探し、褒めるようにしている。	職員だけでなくご利用児童様も巻き込みながら、良い所を見つけて伸ばしていきたい。
3	外出レクリエーションにて公共交通機関を使い、生活圏内からの(見慣れた)バスや電車の乗り方や、社会でのルールを体験し覚え、自立に備えていく。	時刻表を見て、次のバスや電車の時間がわかるようにクイズや問題を出して、施設に戻って来てから1人1人に感想や発表をして振り返りを行っている。	外出レクリエーション等、ご利用児童様も計画に参加してもらい、企画計画する楽しさ、下準備や時間の管理、体験し身に付けてもらい、ただ外出レクリエーションや室内のレクリエーションに参加するだけではない経験を体験してもらいたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動で、外遊びがなかなかできない。	徒歩圏内に公園がない。	公用車でグラウンドや公園に行き、身体を動かして遊びながら運動療育を取り入れている。やわらかいボールを使ってバスケットのドリブルやパス練習等をしている。
2	地域交流が以前より増えてきている。	松伏町の行事に参加したいが、日曜日開催が多く、土曜日の開催がない状況。今年度は松伏町役場にあらかじめ依頼をし、ハロウィンのコスプレをしてお菓子を貰いに行った。他に年1回越谷松伏放課後等デイサービス連絡会で開催されている運動会に参加し、他事業所との交流の機会を持っている。	松伏町役場や他事業所ともしっかりと交流を深めて色々な行事やイベントに参加し挑戦していきたい。
3	ご利用児童様の学年が小学生から高校生までと幅が広い。集団活動のバランスや内容が難しい。	ご利用児童様の人数と職員の数により、グループ分けが出来る様な人員、場所分けが難しい。課題が終わらないご利用児童様がいたり職員が足らなくなる。	小中高でグループ分けが出来るように、タイマー等を使いながら工夫をして時間配分を行い活動する。